

第5号様式 (第2条第1項第4号)

木 竹 伐 採 概 要 書

一 森林地内の伐採	1. 林 相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (占領面積比針:広) (エ)竹 林			5. 伐採区域面積	m ²	摘 要			
					6. 伐 採 量	m ³				
					7. 伐 採 方 法	(ア)皆 伐 (イ)択 伐 (択伐率 %)				
		2. 林 齢 また は 林 齢 範 囲			8. 伐採主要樹種					
		3. 疎 密 度			9. 伐採跡地の 処 理 方 法					
4. 隣接地の現況										
二 森林地外の伐採	II-1 集団をなす立木竹の場合	1. 隣接地の現況			2. 伐採区域面積	m ²	摘 要			
								3. 伐 採 方 法	(ア)皆 伐 (イ)択 伐 (択伐率 %)	
								4. 伐 採 量	m ³	
								5. 伐採主要樹種		
								6. 伐採跡地の 処 理 方 法		
独 立 木 の 合	II-2	1. 樹 種 名	2. 樹 齢	3. 樹 高	4. 目通幹まわり	5. 数 量	摘 要			
			約 年	m	m	本				
III 建 築 敷 地 内 伐 採	1. 樹 種 名	2. 樹 齢	3. 樹 高	4. 目通幹まわり	5. 数 量	摘 要				
	ケヤキ	約 35年	8.0m	0.7m	2本					

備 考

- I-1については該当する番号に○印をつけること。なお該当行為が2つ以上にわたる場合はそれぞれに○印をつけること。
- II-1-3については該当符号に○印をつけること。また(イ)に該当する場合は択伐率をカッコ内に記入すること。
- I-3の「疎密度」は樹冠投影面積の10分比をもって表わすこと。
- I-4、II・II-1・1の「隣接地の現況」欄には、土地の状況、立木竹、建築物、その他の工作物の有無とその種類等を記載すること。
- I-7-(イ)、II・II-1・3-(イ)の「択伐率」は伐採区域における総材積に対する択伐量をいう。
- I-9、II・II-1・6の「伐採跡地の処理方法」欄には、植栽、放置等を記入すること。
- II・II-2・4、III-4の「目通幹まわり」とは、1.5mの地上高の幹周長で、双幹以上のものは、各幹まわりの合計の70%を採り、1.5mのところは枝の分れ目のときはすぐ上部の寸法を採用すること。